

理念	子どもの豊かな成長を地域で支えあう社会と環境の実現に寄与する	中期目標	人権に配慮したきめ細かな保育を推進する。職員の充足を図る。給食・食育の充実を目指す。次世代のリーダーを育成し、常にイレギュラーに対応できる強い組織づくりを行う
経営方針	児童福祉法、保育所保育指針等の精神及び最近の保育動向を踏まえ、保育方針、保育目標に基づいた経営と運営を常に心掛け、子ども及び子育て家庭にとってより良い保育環境を提供する。	中期の課題	次世代リーダーの育成、採用の継続性、地域交流と地域への認知

項目	計画内容	2023年度		2024年度		2025年度	
		取り組み	評価	取り組み	評価	取り組み	評価
保育内容の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>人権に配慮した保育の充実</li> <li>給食部の充実化</li> <li>食育の推進</li> <li>連携園との積極的な交流</li> </ul>	複数回の園内研修等で気付きの共有 給食部業務分担の整理、栄養計算の再設定、メニューの多様化 新たにできることを見つける	○ ○ 継続	研修を繰り返し高いレベルの定着化 購入業者の再選定 提供する食育メニューの充実 実行と改善を繰り返し進める		新入社員も含め定着化を進める 業務の共有化をさらに進める 食育活動の改善と共有化を進める メニューの継続性を見極める	
人材育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>外部研修の積極的な受講</li> <li>採用の情報元を増やす</li> <li>次世代リーダーの育成</li> <li>現リーダーへの権限移譲</li> </ul>	必要な研修を全社員受講 養成校や情報の幅を広げる 各自キャリアプランを聞き取り計画作成 労務・経理についての知識の取得	○ ○ ○ 継続	施設内での学びの共有化推進 新たな情報元からの採用実績を作る ピックアップし、必要な異動等行う 運営全般における権限移譲推進		各自次の目標に向けた研修受講 採用実績を出し継続的な繋がりを持つ 管理職代理業務を責任を持って行わせる ナンバー2との権限の共有化	
保護者支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報提供の充実化</li> <li>参加型の行事提供から認知を広げる</li> </ul>	オンライン発信の推進 発信を増やし育援会の保育の理解を深める	○ ○	オンライン発信の充実 参加型の新たな行事を実施		過去2年を踏まえ新たな内容に 実行と改善を繰り返し進める	
地域交流	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域開放の取り組み</li> <li>専門性を活かしたサービスの提供</li> </ul>	開放プログラムの策定 展開可能なサービスの選定	○ ○	プログラムの実行と振り返り 実践と振り返り		実行と新たな展開を検討 実践と振り返り	
運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>園児の利用率を維持する</li> <li>もえぎの保育の認知を広げる</li> </ul>	周辺区への周知を図る 保護者へもえぎの保育の認知浸透	- ○	継続的な認知活動（利用率90%） 地域への発信を促進する		継続的な認知活動（利用率90%） 保護者地域にもえぎファンを増やす	